KML INFORMATION

22-02 2022年2月

< 検査内容変更のお知らせ >

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、下記項目におきまして、検査内容の一部を変更させていただきますのでご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、弊社事情ご賢察のうえ、ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

《実施日》 2022年 3月 1日(火) 受付分より

《検査内容変更項目》

項目 コード	項目名	変更箇所	新	現	備考	検査案内 記載頁
2124 抗力/	はカルジオロピン/(~へ)	項目コード	8133	2124	測定試薬の変更	114
	がのアクラーク(IBG)	基準値	12.3 U/mL以下	10 U/mL未満		
2304 抗カルジオリピ:		項目コード	8134	2304		
		基準値	20.8 U/mL以下	8 U/mL未満		
	抗カルジオリピン(IgM)	レジオリピン(IgM) 所要日数	3~5⊟	4~6⊟		
		実施料	232点	_		
		判断料	144点(免疫学的検査判断料)	_		

ML 株式会社 京浜予防医学研究所

〒216-0042 川崎市宮前区南野川 3-22-1
TEL 044-777-3254 http://www.kml-net.co.jp/

《検査内容変更項目》

項目 コード	項目名	変更箇所	新	現	備考	検査案内 記載頁
1.78871	レニン濃度(PRC) (CLEIA)	項目コード	8128	2884	_ 別メーカーの CLEIA法試薬 に変更 	72
		項目名	レニン濃度(ARC)(CLEIA)	レニン濃度(PRC)(CLEIA)		
		保存方法	凍結(-20℃以下)	凍結		
		基準値	2.21~39.49 pg/mL	1.2~35.4 pg/mL (随時)		
		報告下限	0.20 pg/mL未満	0.6 pg/mL未満		
		報告上限	10,000 pg/mL以上	5,000 pg/mL以上		
2885	アルドステロン〈血清〉	項目コード	8129	2885	「原発性アルドス テロン症診療ガイ ドライン2021」 推奨のLC- MS/MS相当値が 得られるCLEIA 法試薬に変更	72
		基準値	4.0~82.1 pg/mL	170 pg/mL以下 (随時)		
		報告下限	4.0 pg/mL未満	17.0 pg/mL未満		
2886	アルドステロン〈尿〉	項目コード	8130	2886		
		基準値	1.0~19.3 μg/day	10 μg/day以下		
		備考	畜尿時は冷暗所に保管してください(塩酸および C-ペプチド安定化剤は 使用しないでくださ い)。	畜尿時は冷暗所に保管 してください。		
1.77.7.7	アルドステロン〈CLEIA〉/ レニン活性比	項目コード	8131	2422	「原発性アルドス 一テロン症診療ガイ ドライン2021」 に準じた基準値 - (カットオフ値)へ 変更	
		基準値	200 未満	200 以下		
	アルドステロン/レニン 濃度比〈CLEIA〉	項目コード	8132	2423		
		基準値	40 未満	40 以下		

●アルドステロン測定に関するお知らせ

2021年10月に日本内分泌学会から「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」が発表されました。 新ガイドラインでは、アルドステロン測定値はCLEIA法によるLC-MS/MS相当値を基準として判定することが 推奨され、臨床判断の基準値(カットオフ)の見直しも行われました。

これに伴い、アルドステロン検査を上記ガイドラインで示されたLC-MS/MS相当値が得られるCLEIA法 試薬に変更し、アルドステロン/レニン活性比およびアルドステロン/レニン濃度比も新ガイドラインに準じた 基準値(カットオフ)へ変更いたします。また、関連項目であるレニン濃度検査についても、アルドステロン検査 と同一メーカーの測定試薬に変更いたします。

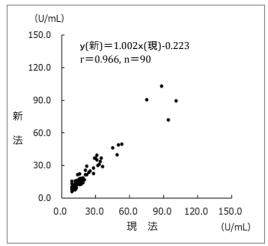
●原発性アルドステロン症の新判定基準

	新基準	従来の基準			
スクリーニング陽性基準	血漿レニン活性(PRA)を用いる場合				
	PAC〈CLEIA法〉/PRA比(ARR) ≧ 200 かつ PAC〈CLEIA法〉≧ 60 pg/mL ただし、 PAC〈CLEIA法〉/PRA比が100~200 (ARR境界域) かつ PAC〈CLEIA法〉≧ 60 pg/mLの時は暫定的に陽性	PAC〈RIA法〉/PRA比(ARR) > 200 かつ PAC〈RIA法〉>120 pg/mL			
	活性型レニン濃度(ARC)を用いる場合				
	PAC〈CLEIA法〉/ARC比(ARR) ≧ 40 かつ PAC〈CLEIA法〉≧ 60 pg/mL ただし、 PAC〈CLEIA法〉/ARC比が20~40 (ARR境界域) かつ PAC〈CLEIA法〉≧ 60 pg/mLの時は暫定的に陽性	PAC〈RIA法〉/ARC比(ARR) > 40 かつ PAC〈RIA法〉>120 pg/mL			

PAC:アルドステロン濃度

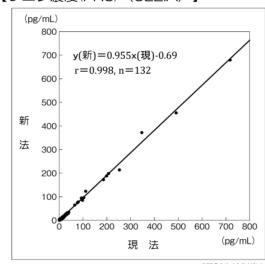
●現法と新法の比較

【抗カルジオリピン(lgG)】



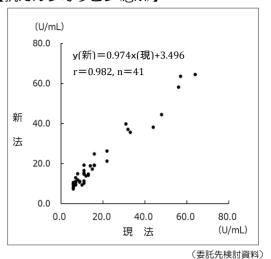
(委託先検討資料)

【レニン濃度(PRC)〈CLEIA〉】

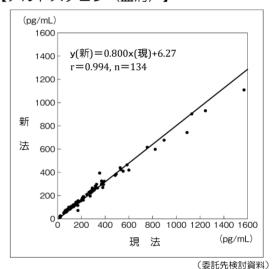


(委託先検討資料)

【抗カルジオリピン(IgM)】



【アルドステロン〈血清〉】



【アルドステロン〈尿〉】

